

## 平成29年度 第1回 加賀市総合教育会議

招集日時 平成30年3月26日（月曜日） 午前10時開会／午前10時35分時閉会  
招集場所 加賀市役所別館3階 301会議室  
出席者 宮元陸市長  
教育委員会 山下修平教育長、篠原隆一委員、山下裕嗣委員、疎幹子委員、佐野明子委員  
会議列席者 梶谷事務局長、向出次長兼学校指導課長、山本教育庶務課長、崎田生涯学習課長、中田スポーツ課長、  
鳶崎文化財保護課長、奥村マラソン開催推進室長、渡部教育庶務課長補佐

宮元市長 平成29年度第1回総合教育会議開会宣言  
挨拶

皆さんおはようございます。本日は、加賀市総合教育会議を招集させていただきましたところ、お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。

教育長・教育委員の皆様には、日頃から加賀市の教育に対しまして、多大なご尽力を賜り、改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、この総合教育会議でありますけれども、市長と教育委員会とが地域の教育課題・施策について協議をする場として、地方教育行政法に基づいて設置しているものであります。昨年度の会議では、本市の教育に関する方針を定める「加賀市教育大綱」に関する協議を行い、昨年2月に、お手元に配付してありますように、策定したところであります。

教育を取り巻く環境に目を向けてみますと、少子高齢化による児童生徒数の減少、予想を超えるスピードで進むAIやIoTの技術革新、グローバル化、また、文部科学省が定める「次期学習指導要領」の平成32年度からの実施など、状況は大きく変化しています。

そのような中、我々にとっては、子どもたちへの教育を、いかにして行い、未来の加賀市を担う人材を育てていくかというのが、大きな使命の一つであります。

目まぐるしい環境の変化にも、しっかりと対応していけるような人材を育てるための基礎づくりとして、教育を展開していかなければならないと思っております。

それでは、本日の会議では、皆様からの忌憚のないご意見をいただきまして、加賀市の教育をよくするためにお力添えをいただければと思っておりますので、よろしくごお願い申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。

山本課長 続きまして山下教育長からご挨拶をいただきたいと思っております。

山下教育長 おはようございます。年度末の大変お忙しいところにお集まりいただきまして、今年度の総合教育会議を開催させていただきますし、これが終了しましたら今年度最後の教育委員会定例会も開催をさせていただく予定であります。長時間になりますが、よろしくごお願いいたします。

今年度の加賀市の教育の施策としましては、学力向上に関してかがっこ土曜スクールを年間を通して開催をさせていただきました。基礎学力の習熟を図り、また第3

回目のロボレーブの国際大会を行いました、全小中学校の参加がありました。それから今年はその上位チームを初めてであります、北京で行われましたロボレーブアジア大会にも参加をさせていただき、そこでも好成績をおさめることができました。その他台湾、シンガポールとの児童生徒との交流もさせていただいて、グローバル社会に対応できるような児童生徒を育成するために頑張っておりまいた。また、社会が多様化する中で、家庭教育の充実、そして生涯スポーツ、生涯学習、文化推進も併せて今年度はやっております。今年度、来年度は次期学習指導要領の移行期間であります。その目玉はプログラミング教育の必修化、小学校英語の教科化、そして道徳の教科化などがあります。今その準備に一生懸命に取り組んでいるところであります。特にプログラミング教育に関しては全国に先駆けて先行実施を行いました。加賀市の特徴としたらラズベリーパイ、ミニコンピュータであります、ラズベリーパイ教室を全小中学校で開催したということ、それと併せて中核教員養成講座も行ってまいりました。他市からの訪問があると中核教員養成、ここに非常に注目をいただいております。一番の問題はどうしてこのプログラミング教育を子ども達に教えるかという、ここを加賀市が先進的に取り組んでいるところに皆さん感心をして帰られます。プログラミング教育に関しては加賀から全国に発信というその自負を持って、これからも取り組んでいきたいと考えております。

また市長さんのおかげで教育予算が年々充実され、また来年度に向けていろんな施策も考えているところであります。

本日のこの総合教育会議は市長と教育委員が加賀市の教育についてお互いの思い・考えを語る貴重な場というふうに捉えております。どうか忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

山本課長

それでは総合教育会議の議事進行は市長が行うこととなっておりますので、市長、よろしくお願ひいたします。

宮元市長

よろしくお願ひいたします。最後までご協力の程お願ひをいたします。

さっそくですが、議事に入らせていただきます。

本日の議事は2件であります。

はじめに、第2期加賀市教育振興基本計画（案）についてです。事務局の方から説明をお願いします。

● 第2期加賀市教育振興基本計画（案）

山本課長 資料に基づき説明

宮元市長

ただ今、第2期の加賀市教育振興基本計画について説明がありました。

基本計画ですから、内容は教育全般にわたっており、ボリュームも相当にあります。その中で特徴的なものについて説明がありました。

私は、人口減少に立ち向かい、未来の加賀市を切り開くためには、教育に力を入れ、「加賀市で教育を受けさせたい」と思ってもらえるような施策展開を行っていくことが極めて大事だと考えています。

教育長、教育委員皆様の方から、ご意見をいただければと思います。いかがでしょうか。よろしいですか。

この計画は、この後の教育委員会の会議で決定されるようであります。

今後、平成33年度までの計画期間中、この総合教育会議でも意見を交わしながら、基本計画をもとにして、加賀市の教育をより充実したものにしていきたいと思えます。

それでは、続いて議事の2つ目、平成30年度教育施策についてに入ります。

事務局の方から説明をしてください。

- 平成30年度教育施策について

山本課長 資料に基づき説明

宮元市長 ただ今、平成30年度教育施策についてについて説明がありました。

教育長、教育委員の皆様の方から、ご意見などはいかがですか。

篠原委員 お願いします。まず冒頭のところで市長さんにお礼を申し上げたいと思えます。2ページにも書いてありますように、学校教育の充実ということで、日頃から市長さんが掲げていらっしゃることを実際の予算に反映していただいたということで、前年度の比より122パーセントという大幅な伸びということなので、大変嬉しく思っております。これは逆に言えば、現場に課せられた大きな課題でもあると私自身は思っておりますので、是非教育委員会事務局の皆さんのご尽力と市長さんのご判断で大きく予算をつけていただいたということに対して、教育現場の職員は身を引き締めて頑張っていたきたいなと思っておりますので、まずは冒頭にお礼を申し上げたいと思えます。ありがとうございました。

宮元市長 他にはいかがでしょうか。

山下委員 はい、本当に加賀市はいろいろと全国に先駆けた施策を行っていると思うんですが、教育委員会としてはなかなか進めない部分というか、これだけ充実した教育を行っていて、教育委員会は小学校、中学校ですが、さらに上の高校へ行こうと思うと、加賀市内の高校でどうしても思った高校に行けないので、他市へ向かってしまう傾向があるわけです。例えばそういったことを全体のこういった総合教育会議の中で市長さんとともに、高校へのなにかしらの働きかけの充実とかができないかと考えているわけがございます。特に本年度、加賀高校につきましては大変な出願というか結果でございましたので、その辺もこういった会議の中で、全体として市として考えていただけないかなと思っております。以上です。

山下教育長 今の件に関しまして、教育委員会としても本当に頭が痛いところでありまして、議会でも取り上げられておりますし、確かに高校の場合は県立でありますので、県の教育委員会の構えでありますけど、実際に加賀市にある全日制の学校は3つありますので、これを県の構えだといっておくわけにはいかないなど。このことに関しましては、市長さんを含め市の幹部ともなんらかの対策を打たなければならぬんじゃないかということで今、県の教育委員会と連携をとりながら、なにかできないか

と考えております。せっかくプログラミング教育を小学校中学校でしていますので、これをなんとか高校へもつなげていけるようなことになればということで、今すぐお答えということはできませんが、県の教育委員会と連携を取りながら、協力しながら考えていきたいというふうに思っております。

宮元市長

他に何かございますでしょうか。この際議案以外でも結構でありますので、せっかくの機会でもありますから忌憚のないご意見をいただければと思います。

篠原委員

お願いします。一番最後の文化財保護事務の移管というところであります。加賀市の教育委員会の中での文化財保護は大変ご尽力いただいているんですけども、今回新たに市長部局ということで、文化振興課ということで保存のみならず活用も視野に入れていくということで。私自身はこれからの新幹線開業等も見据えて、やはり加賀市の売りとなるところは何かとなってくると、やはり文化財と豊富な歴史というようなところが首都圏の皆さん辺りに対しては、非常に売りになっていくんじゃないかなと今から考えているところであります。加賀市には日本一のものがいっぱいありますが、それが眠っているものもありますので、それにぜひ日の目を当てていただきたい。それにはいわゆる費用対効果というものがあるとは思いますが、それは無駄なことには使ってはいけないと私自身も思っておりますが、ある面ではそれを磨き上げていくことが加賀市の魅力の向上にもつながっていくと思っております。磨き上げていくことにはある程度の費用がかかります。それに対してすぐに結果としてこれだけの観光客の方が増えたとか、直接つながらないかもしれませんが、それも踏まえてこの両者を合併させていくことに対しては非常に賛成なので、特に移管される文化財保護課の皆様方には新たな部署に立っていったときにも、先導的に中心になってご活躍していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。以上です。

宮元市長

他に何かございますか。

礪委員

お願いします。いじめ防止条例とか、学校の先生の働き方のことなんですが、やっぱりいじめとかそういうものを防止していくためには学校の先生方の力が大変必要だと思えます。それはあまり忙し過ぎると先生方もなかなかいじめのことに気が付けないんじゃないかと思ひまして、先生方の働き方とかそういうものもみてほしいですし、やっぱり子ども達がいい思い出をもって学校を卒業していってくればまた戻ってくるというか、気持ちの面でゆとりを持った学校の運営とか教育をお願いしたいなと思ひます。プログラミングももちろん大事ですし、英語も大事ですけど、先生方にはちゃんと目が届くような働き方をさせていただいて、生徒を大事にさせていただきたいなと思ひます。よろしくお願いたします。

宮元市長

これは教員の多忙化解消への取組みということですね。もし補足で説明することがありましたらお願いたします。

向出次長

はい、ご意見ありがとうございます。教員の多忙化については近年本市だけではなくて全県的に話題になっていることでございます。今年度から県の方もその実態調査に乗り出しまして、本市もそれをきちんと把握した上で、30年度に向けた施策を考えてきた次第です。それに向けて本市独自で教育業務のアシスタント、これは先

生方がなかなか時間がとれないという部分で、印刷とかそういう事務的にその先生でなくてもできるもの、それで時間がとれないように、そういうような支援をできる限りしていくということ。それから全部の学校に配置はできないですから、これまでの支援員の方の業務を少し拡大させていただいて、そこもお手伝いできるような業務内容にして来年度から取り組んでいきたいと考えております。また研修についても精選を図りまして、先生方が今、国の施策としてやっていかなければいけないこと、それとやはり少し考えて軽減できることというのをバランスをとりながら運営していきたいと考えておりますので、また今後ともご意見をいただきたいと思っております。ありがとうございます。

宮元市長 他にございますか。

山下教育長 はい。今の疎委員からの働き方改革と併せて、いじめのこともお話に出ましたので、このいじめ防止のための対策ということで、今日のこの後の教育委員会でも議題にしますけど、加賀市としていじめ防止基本方針案というものを今年度作りました。そこに至るまでにいじめ等生徒指導連絡協議会といじめ防止等対策委員会をそれぞれ2回の会議を持ちまして、いじめ基本方針を作るのにいろいろご意見をいただきました。特に命にかかわるような重大事案に関してどうするかというところを特に慎重に検討して案を作りました。いじめ防止基本方針案、これに従って来年度以降もきめ細かに頑張っていきたいなというふうに思っております。

他にございますか。よろしいですか。

宮元市長 それではだいたいご意見も出たようでありますので、本日の議題は2件であります。最後までご協力いただきましてありがとうございます。  
これをもちまして総合教育会議を閉会させていただきたいと思います。  
どうも最後までありがとうございました。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。